修正案

反 対

み状態の中で区民生活の向上や

何の具体策も打

ことで待機児童の解消等が図ら

施策の前進と少子化対策に

革に取り組み、基金を積み立て

と議会が一体となって行財政改

特定企業

との契約は変更等をし、

ムダ遣

短期証の発行も始まったも

いを改めるべきである。

ので賛成できない。

区民の生活を支える姿勢に欠 子ども重視と言いながら教

雇用不安をどう解消していくか

積極的な姿勢を示したが、

従来

消防署との協働による防犯活動

執行や今後の区政運営に反映さ

せるよう要望する

医療施策では、

大学病

することを強く要望する。

体として、区民生活第一の足立 慮しつつ、区民と一番近い自治

区政の担い手として予算を執行

## 党 凮 麣 会 汆 妞 X

修正案 反 対 国民健康保険特別会計

の見える化が重要である。 促進、財務諸表を活用した財政 明日への絆を結ぶ」と掲げ、 用地の有効活用、区民との協働 え合える仕組み・地域づくりに 特別区民税等の徴収対策や未利 のちから推進部を新設し、 そこで、行政改革はもちろん、 区は、予算案を「縁をつなぎ

立 区議 圁 E l 民主党

ことであり、基金の取崩しによ

活保護費等の扶助費が増大した

その主な増要因を見ると、 増の積極型予算となった。

り対応している。

近藤区政になってから、行政

-般会計 国民健康保険特別会計 介護保険特別会計

教育が一体となって運営される 対策に至っていない。今回の組 があった待機児童対策は抜本的 織改正により、保育行政と幼児

を結んだものと実感している。 しかし、多くの委員から指摘 に頼っているが、これまで、 らに、その財源を基金の取崩し

歳出は、生活保護受給者数の急 円余の取り崩しや57億円余の区 を取り崩す財源対策も2~3年 企業の厳しい景気状況等、 伸に伴う扶助費増や、 に下回る見込みで、都区財政調 入は、特別区民税が前年度を更 債発行によって編成された。歳 整交付金も先行き不透明である 平成23年度予算は、基金20億 区内中小 基金

策では、 ドウズ運動拡充、 では、ビューティフル・ウィン 抗体検査の公費助成。 区内警察署・

度一般会計予算は前年より12億 あった。 そうした中で平成23年 が求められる重要な委員会で の接種費用が新たに計上されて が亡くなられたことを受け、接 チンと小児用肺炎球菌ワクチン 寄与されることを期待する。 いるが、同時接種後にお子さん また、今予算には、ヒブワク 的で安定した区政運営を目指す ことが、区民福祉向上につなが でもある。自由民主党は、継続 基金の積み立ては未来への投資 の増大に対処できるのである。 てきたからこそ、現在の扶助費

委員 到底容認できない。 ると確信しており、 強化され、これまで以上に協働 が立ち上がることで、地域力が 最後に、地域のちから推進部

加藤

和明

修正案は、単なるバラマキ的給 のないよう配慮をお願いする。 今後の展開が不透明な中、 種を見合わせる旨報告があった。 付事業の施策ばかりである。さ なお、共産党から提出された 混乱 の絆が深まり、更に発展される ことを期待する。

区は、我が党委員の指摘した

区は、単なる貸しビルとなっ

上げとなり賛成できない。賦課

講じても1千3円の保険料引き

る内容となっている。

険料値上げに道を開いたものと 方式の変更は、今後の更なる保

指摘せざるを得ない。

支え、

子どもから若者、高齢者

とは、区の進めてきた改革が実 改革等で高い評価を得ているこ

や送迎ステーション支援、子宮 頸がんワクチンやHTLV 祉員によるグループ保育の実施 による幼児教育の充実、小・中 学校での補習教室拡充、家庭福 たな取り組みが必要である。 のサービスの延長ではなく、 子ども施策では、幼保小連携 新 業支援では、

経営革新



くぼた 委員 美幸

これらは、

防体操のテレビ放映。治安対策 の増床、URとの協働による要 介護者見守りサービス、介護予 特別養護老人ホーム等 高齢者施 り指摘した事項や提案を、 の持てる足立」の実現に向けた ともに区制80周年の佳節を迎え る。区民と喜び合える、「誇り 区政運営を強く要望する。

きに取り組み、区民が 事項等を尊重し、前向 の飲料缶回収。中小企 住宅用及び街路灯のL 安心して暮らせる社会 の推進。環境施策では の実現に向け努力する 論 要旨

ともに、保険料を払えない区民

である。

の第

一歩となる予算となるもの

まで安心して暮らせる足立区へ

保険料の負担増が継続されると

後期高齢者医療特別会計は、

区

よう強く求める。

ちづくり施策では、区内初の車 支援事業や産業展示会事業。 きた重要な施策である。 差事業の推進等が盛り込まれた。 に幅、竹ノ塚駅付近連続立体交 我が党が要望して 補助138 緑等の ま かかわらず、

学校の学力格差の解消、 東京国体開催への取り組み、 学大学と地域連携及び周辺整備 育委員会の在り方、区内小・中 童の早期解消、幼保一元化と教 あらゆる制度を活用した待機児 宮頸がんワクチン接種率の向上、 帝京科 子

我が党が細部にわた

予算

ら、切実な区民要望である認可 優遇等のムダ遣いは温存しなが 規模である。 込んだ基金は9億円と過去最高 保育園増設には背を向け、 ため

育の充実にも背を向ける予算で

あり、賛成できない。

図る

住宅リフォーム助成の拡大で地

が党が提出した修正案は、

修正案 **賛 成** 

域経済活性化及び税収アップも

国民健康保険特別会計は、

1

人あたり5千8円、

経過措置を

年までの3年間で2倍以上、今 低い28%である。待機児童は昨台に比して足立区は11%以上も 要度指数が56点でも入れない異 年は更に深刻になり、 保育園の定数は、近隣区の39% 常事態となった。 5歳以下の人口に対する認可 保育の必

本修正案は

た東京芸術センターに、地代 減免等計16億円もの 9千80万円を20年間払 優遇をした上、年間 定にも反する綜合商事 い続ける。身勝手で協

種基金から過去最大級 で行くと、財政調整基 成された。このペース の01億円を繰り入れ編 今回の予算案は、各 損なうことがないよう要望する。 家庭部の教育委員会への編入に ついて、教育委員会の存在意義 ついて指摘した。特に、子ども どもたちの体験学習推進事業に である「首長からの独立性」を

成26年度に残高ゼロとなるにも 金は平成25年度、減債基金は平 と集中の徹底を要望する。 張感に欠けると言わざるを得な い。これまで以上に事業の選択 本委員会において、子育て支 教育分野では、放課後子ど 予算案の中身は緊 ギー利用促進事業、

も教室の全校平日毎日実施、子 る。 福祉・

摘した。住宅用LED照明促進 のため区内に限定しない予定だ 事業の購入地域を、 タウン構築への取り組み等、 区内での購入が望ましいと考え 区内商店活性化のためにも、 利便性重視 おぐら 修平

なる

本委員会での議論を十分に考 活用について指摘した。 指

むユニバーサルデザインの推進 設の統合と複合化、カラーも含 わる印刷物の地産地消、公共施 シティプロモーション課のさら その他、商品券等、区にかか 一時利用も可能な 地下式駐

足立区議会民主党・無所属

委員

原案 一般会計・・・・・・・ 賛 国民健康保険特別会計・・・・・・・ 介護保険特別会計・・・・・・・・ 後期高齢者医療特別会計・・・・・・

<u>へ</u>の スワ 院の区内誘致、 ーカーの増員、荒川河川敷 AED設置について指摘し 福祉事務所ケー

里・舎人ライナー駅前自転車駐 使いやすい駐輪場の整備、日暮 ぜ開通について指摘、要望した。 輪場を含む、 車場整備、新田地域へのはるか 交通網の整備では、

環境分野では、

太陽エネル

エコモデル

修正案 **反 対** 成

作って待機児童を解消し、国民 1%を増額するだけでくらしを 区で第2位の年間予算のわずか の宿泊学習、介護人材育成支援 健康保険料の負担増を区の福祉 料化して、区民の命と健康を守 等を復活。7つのガン検診を無 書を配置し、特別支援通級学級 基金のわずか2%を使い、23 とともに、認可保育園を 小学校へ図書館司 本共産党足立 X

国民健康保険特別会計・・・・・・・ 反 対 介護保険特別会計・・・・・・・・ 成 後期高齢者医療特別会計・・・・・・ 反 対

2

鈴木 けんいち

委員

原案 反 対